

- [分類] 普及技術  
 [成果名] 水稻中期除草剤クサファイター1 キロ粒剤は水田雑草防除に有効である。  
 [要約] 移植水稻に対して、初期剤あるいは初中期剤との体系でクサファイター1 キロ粒剤を移植後 20 日～ノビエ 3.5 葉期までに 1kg/10a 処理すると、効果的な雑草防除が可能である。  
 [担当] 農事試験場作物部  
 [部会] 作物部会

### 1 背景・ねらい

省力的で除草効果の高い水稻用中期除草剤の実用性を検討し、新しく利用できる剤として情報提供する。

### 2 成果の内容・特徴

- (1) 移植水稻に前処理剤との体系でクサファイター1キロ粒剤を移植後20日～ノビエ3.5葉期に 1kg/10a処理する。

農薬登録内容

クサファイター1 キロ粒剤

シハロホップブチル 1.8% アジムスルフロン 0.18%

[毒性] 人畜毒性：毒物、劇物には該当しない

[魚毒性]：シハロホップブチルA類、アジムスルフロンB A類

[対象作物に対する適用登録状況]（平成23年10月12日現在 J P P - N E T 確認）

作物名	適用雑草名	使用方法	適応土壌	使用時期	10a 当たり 使用量	本剤の使用 回数
移植水稻	水田一年生雑草及びマツパイ、ホタルイヘラオモダカ(東北)、ミズガヤツリウリカワ、クログワイ、オモダカ、ヒルムシロ、セリ	湛水散布	砂壤土～ 埴土	移植後 20 日～ノビエ 3.5 葉期 但し、収穫 30 日 前まで	1kg/10a	1 回

### 3 利用上の留意点

- (1) 使用上の留意事項は、「農作物病虫害・雑草防除基準（長野県）」の除草剤の使用方法（中期除草剤）を参照する。  
 (2) 初期剤等との体系処理を基本とする。  
 (3) スルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草が生じているほ場では使用を避ける。

### 4 対象範囲

県下全域

### 5 具体的データ

- (1) 平成21年に農業試験場で行った試験では、初期剤との体系において移植後20～30日処理で雑草防除効果が高かった。また、単用のノビエ3.5葉期処理ではノビエ、ホタルイの効果は高かったが、スルホニルウレア系除草剤抵抗性と思われるコナギ、アゼナ、ミゾハコベなど1年生広葉草種が残存した（表1）。いずれの処理においても薬害は認められなかった。

表1 クサファイター1キロ粒剤の雑草防除効果<sup>a)</sup> (平成21年、農業試験場)

除草剤名	処理時期 <sup>d)</sup> 処理量(/10a)	ノビエ	タマガ ヤツリ	一年生 広葉 <sup>e)</sup>	マツバイ	ホタルイ	合計	クログワ イ <sup>f)</sup>	オモダカ <sup>f)</sup>
初期剤 <sup>b)</sup>	+1日→+20日	0	0	1	0	0	t	(22)	(56)
	1kg→1kg								
+クサファイター1キロ粒剤	+1日→+30日	0	0	2	0	0	1	(76)	(26)
	1kg→1kg								
クサファイター1キロ粒剤	ノビエ3.5葉期	0	0	131	0	1	52	(10)	(32)
	1kg								
体系除草 <sup>c)</sup>	+1日→+20日	0	0	0	0	1	t	(58)	(50)
	1kg+1kg								
無処理	—	21.0	1.8	34.5	0.3	30.1	87.7	(1.8)	(3.6)

a) 除草剤各処理区の数値は対無処理比(%), 無処理区は乾物重(g/m<sup>2</sup>), 「t」はtrace(痕跡)の残存を示す

b) 初期剤はソルネット1キロ粒剤

c) 体系除草はソルネット1キロ粒剤→ザーベックスDX1キロ粒剤

d) 処理時期の+は移植後日数

e) コナギ、アゼナ、ミゾハコベ、キカシグサの合計

f) 塊茎埋め込み試験, 合計から除外

試験方法: 試験場所は農業試験場水田ほ場(標高340m、中粗粒グライ土)。品種は「あきたこまち」。中苗3本植(22.2株/m<sup>2</sup>)。代かきは5月9日、移植は5月14日。1区7.2m<sup>2</sup>2区制。

調査方法: 移植54日後に調査した。

(2) 平成23年に下伊那郡豊丘村で初中期剤との体系処理を行った試験では、ノビエ、ホタルイ、オモダカに対して効果を認め(表2)、薬害は認められなかった。

表2 クサファイター1キロ粒剤の雑草防除効果<sup>a)</sup> (平成23年、下伊那農業改良普及セ)

除草剤名	処理時期 <sup>d)</sup>	処理量(/10a)	ノビエ	アゼナ	ホタルイ	オモダカ	合計
初中期剤 <sup>b)</sup>	+7日	500ml					
+クサファイター1キロ粒剤	→+25日	→1kg	0	0	0	0	0
無処理	—	—	8.0	22.4	4.0	23.2	57.6
(比較) <sup>c)</sup> 初中期剤	+7日	500ml					
+マメットSM1キロ粒剤	→+25日	→3kg	0	t	0	0	t

a)、d)は表1と同じ

b) 初中期剤はトップガンLフロアブル

c) 比較は試験区の隣接ほ場で実施

試験方法: 試験場所は下伊那郡豊丘村(標高430m、褐色森林土・砂壤土)。品種は「コシヒカリ」、中苗、機械移植。代かきは5月22日、移植は5月27日。1区26a、反復なし。

調査方法: 7月11日に50×50cmの枠サンプリングにて、処理区は複数カ所、無処理区は1カ所の調査を行った。

## 6 特記事項

[公開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

普通作物の新規農薬等の効果試験、平成21年度(2009年度)、民間受託  
県植物防疫協会委託試験(普及展示ほ)、平成23年度(2011年度)、その他